

技術開発完了報告

青森分局 森林技術センター

課題名	クマガラ巣箱（巣丸太）の設置について 実行・調査				
指示・自主 区分	局自主課題	開発 期間	平成8年度～平成10年度	担 当	森林技術センター
目標	クマガラと林業活動の共存のため、クマガラ用巣丸太を択伐跡地での設置により繁殖事例の一般化を図る。				
結 果	営巣・ねぐらの痕跡がなかった。			技術開発経費内訳	
				（ ） 千 円	
				物 役 人 基 そ の 合 計	費 費 費 職 他 の 計
開発経過と調査内容					
<p>開発経過</p> <p>H. 8年7月 巣箱の設計・作成・設置方法の検討</p> <p>H. 8年8月 巣箱の設置</p> <p>H. 9年8月～10年8月経過観察</p> <p>H. 11年7月 巣箱（巣丸太）の撤収</p> <p>調査内容</p> <p>(1) 経過観察</p>					
評価及び普及指導					
<p>(評価)</p> <p>アカゲラのアカゲラ用丸太での営巣事例を参考に、クマガラ用巣丸太に改良し設置しましたが、営巣の確認ができなかった。</p> <p>設置個所は林道沿いと、開けた場所（ヘリポート跡地）であったが、一般の入林を禁止しているため車や人による影響については問題ないと思える。</p> <p>(普及)</p>					

課題 クマゲラ巣箱（巣丸太）の設置について

東北森林管理局 青森分局自主課題 自平成8年～至平成10年

担当 森林技術センター

はじめに

国民の関心が自然保護・環境問題に対して年々強まる傾向である中において、天然記念物であるクマゲラは本州における生息数が少なく、林業活動に対してクマゲラに配慮した対策が求められる。

クマゲラの営巣木は通直な大径木であり、この点では林業活動とバッティングするが、特に夏期の採餌環境としては択伐跡地でも充分と思われる営巣環境と冬期の採餌環境（立枯木）に配慮したクマゲラ施業を行えば現在の局長通達で、クマゲラと林業活動の共存は可能であると思われる

また、樹洞巢性の鳥類の場合、営巣場所が繁殖の最大制御要因となっていることが多く、同じキツツキ目の鳥類であるアカゲラも巣箱（巣丸太）を利用して繁殖することが報告されている。

クマゲラ用巣丸太の設置により択伐跡地での繁殖事例が一般化すれば林業とクマゲラの共存に対する世論の理解も広がり、国有林のPRにも多大の効果が期待されることから、平成8年度に巣箱を設置し9年度から10年度までの2年間の観察を実施しましたので、その結果について報告します。

1. 巣箱の設計

営巣用巣箱（クマゲラ巣丸太）

営巣木は、本州ではブナ等の広葉樹で品質区分が上とされるものが殆どであるため、通直なブナの木丸太を用いた。

営巣木である丸太（高さ70cm、直径30cm前後）の正面に直径12cm、深さ15cmの穴を開けた。（クマゲラ巣丸太設計図を参照）

クマゲラが営巣するには下方に筒状の穴を開ける必要があるが、過去に於いて他の研究機関のアカゲラの実験では、完全に掘りきった丸太には他の動物が住んでしまった経験から、巣作りを途中からクマゲラにまかせることにした。

ねぐら用巣箱

木の板を用い、幅、奥行きとも20cm、高さ70cmの四角柱の、正面に直径12cmの穴を設け底は筒抜けにした。（クマゲラねぐら用巣箱設計図を参照）

筒抜けの理由は、ねぐら木は80cm～120cmの間隔を置いて、かつ一方向に面し出入り口を3～9個穿ってある、普通そのうち1つを決まった出入り口としているが、内部は空洞となっており全ての穴と通じている造りであることから筒抜けにした。

2. 巣箱の設置場所

津軽森林管理署鯉ヶ沢事務所 奥赤石川林道沿線に、営巣用巣箱13個・ねぐら用巣箱4個をブナの木に高さ10m前後の箇所を設置した。

（クマゲラ巣箱設置個所位置図・クマゲラ巣箱設置個所一覧・設置方法を参照）

なお、一部の設置個所が県立自然公園二種地域であり、巣箱設置は許可不要行為である旨、県自然保護課より確認のうえ行った。

3. 観察の結果

営巣用巣箱・ねぐら用巣箱とも、クマゲラの痕跡が見られなかった。

4. 考査

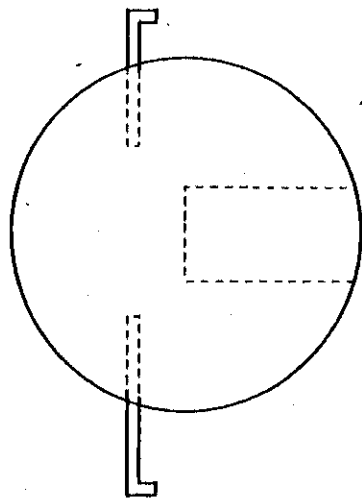
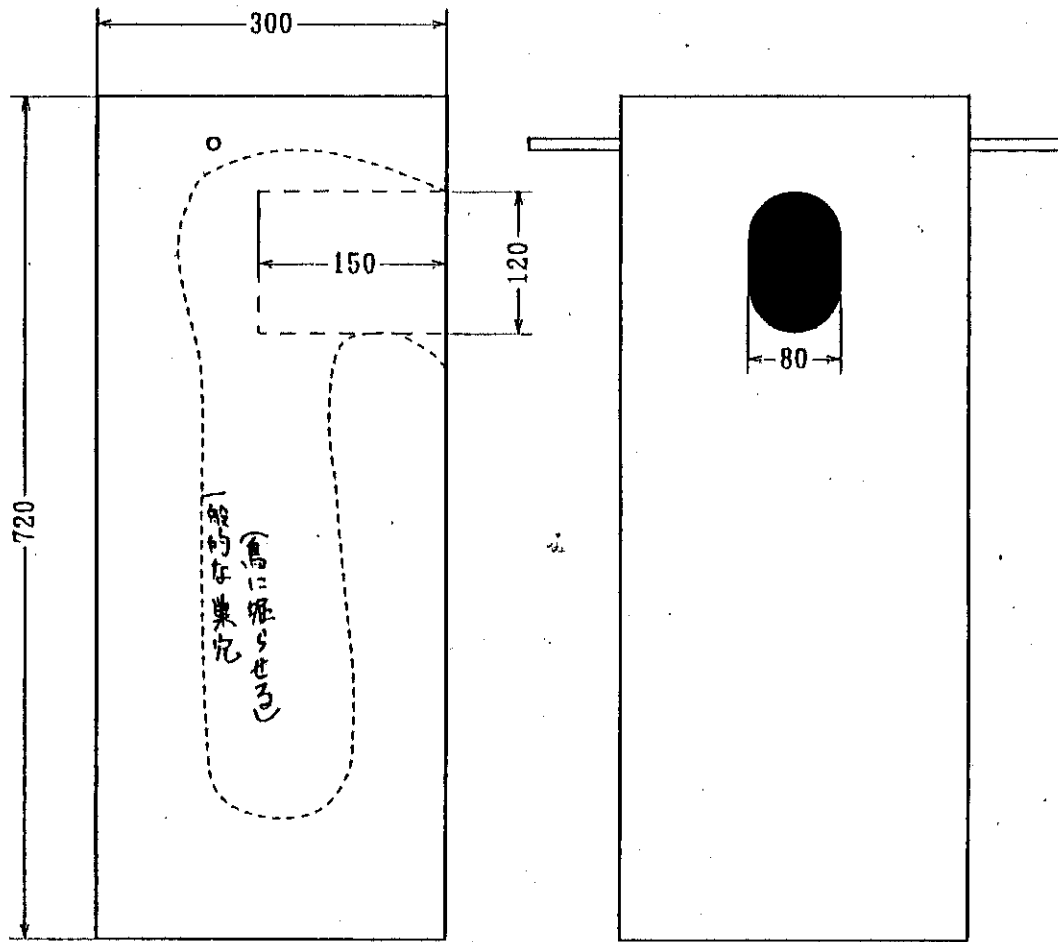
- ① 営巣木は、同じ営巣木を4～5年連続して使用することと、他のクマゲラの営巣木を使用しないことから、固有サイズの巣穴を作るため、受入れられなかったと思われる。
- ② ねぐら木は、自然界では立木の空洞化した巨木であることから、受入れられなかったと思われる。
- ③ テリトリーの調査として、既設の営巣木と繁殖等のための行動圏内外の有無の確認をする必要があるが困難と思われる。

5. おわりに

自然に近い状態を保持出来る巣箱の設計と設置個所を設定しましたがクマゲラには落ち着ける場所ではなかったことと、クマゲラの生息環境は人間の目に触れにくい箇所であることから人慣れしていないため、人工的巣箱には営巣もねぐらも行わなかった。

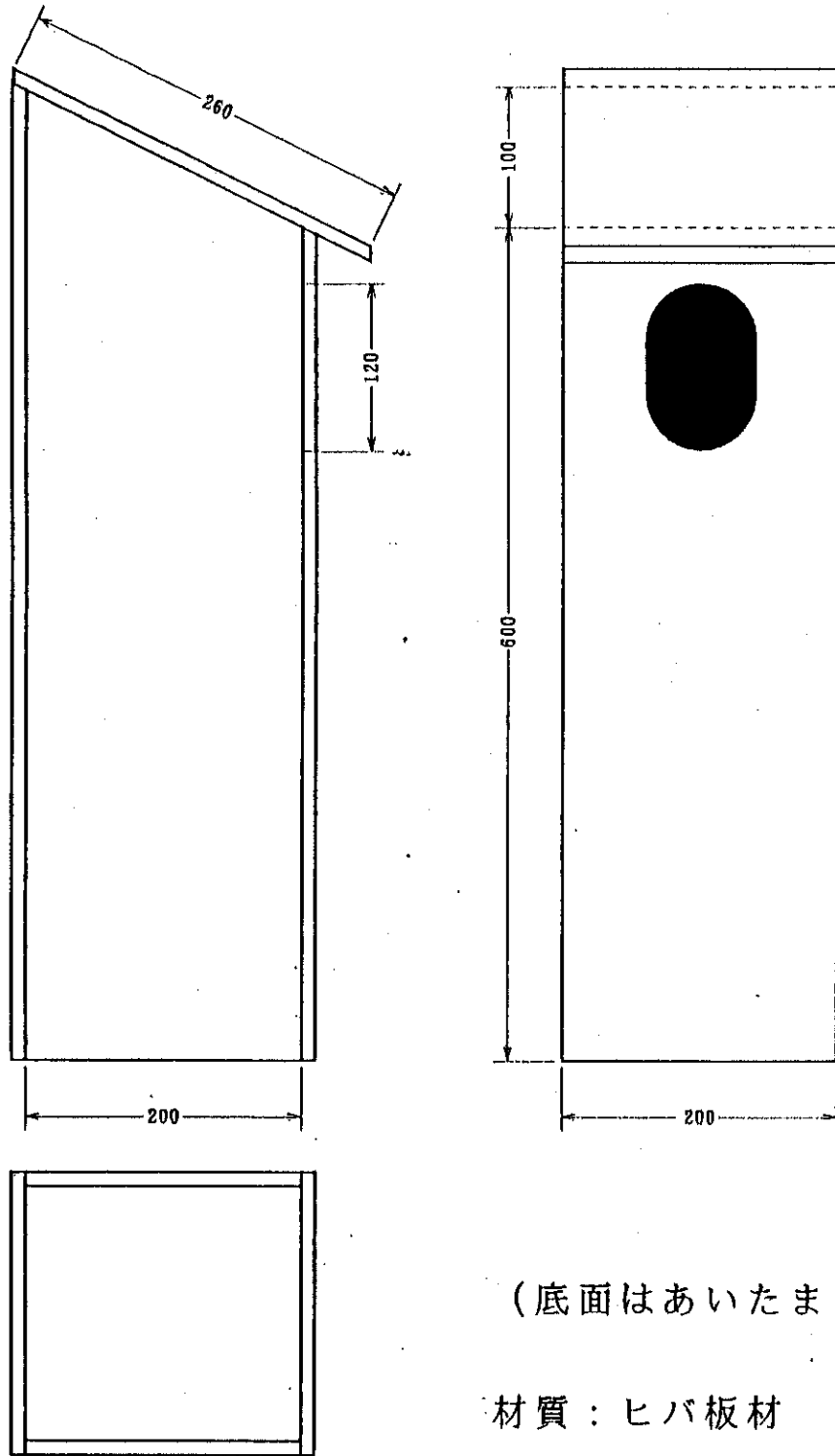
今後の課題としては、別な角度からの工夫によりチャレンジをする。

クマガラ営巣用巣箱設計図



材質：ブナ短尺材

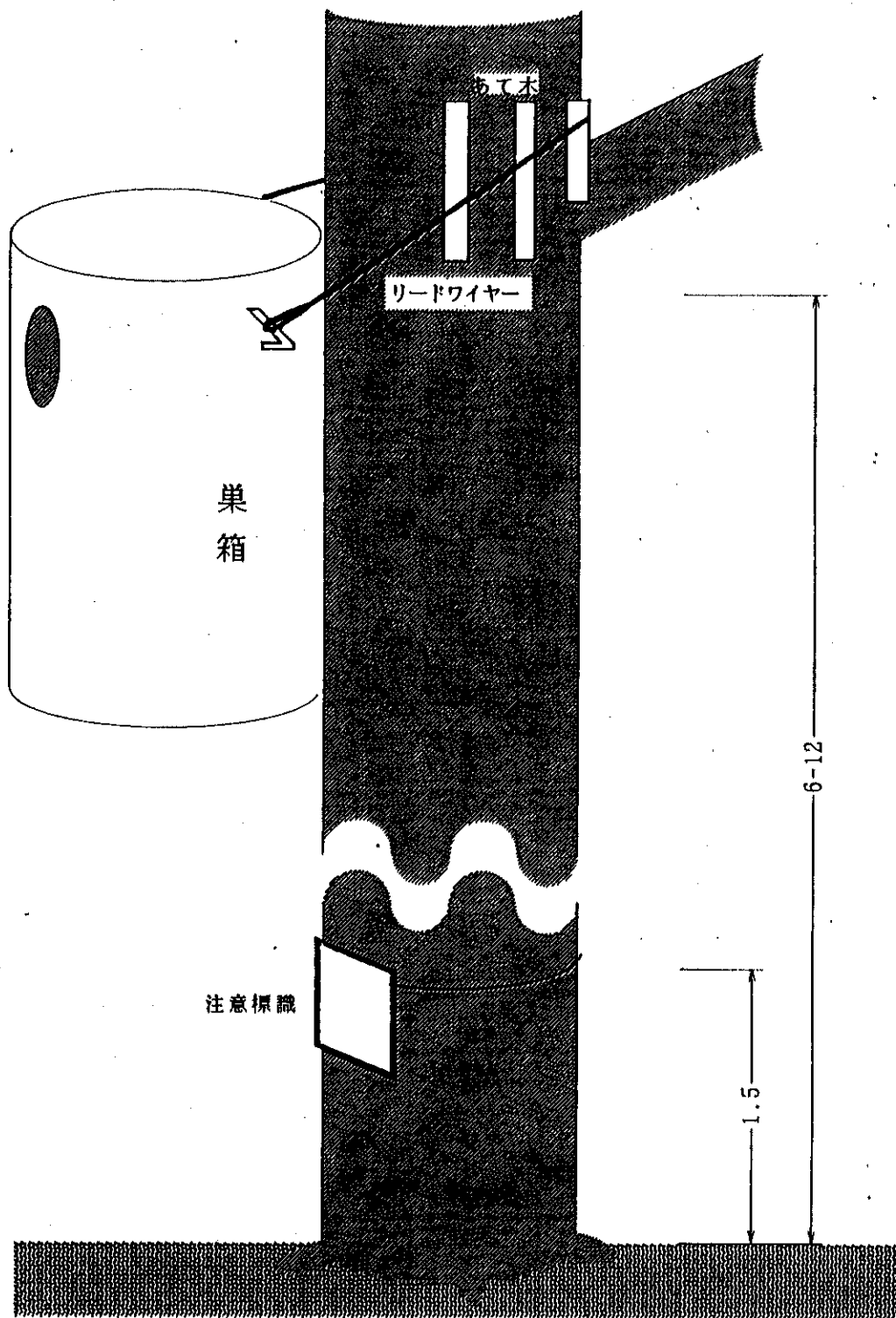
クマガラ壻用巣箱設計図



(底面はあいたまま)

材質：ヒバ板材

設置方法



クマゲラ 巣箱設置箇所 位置 図

凡 例	
●	営巣用巣箱
□	ねぐら用巣箱



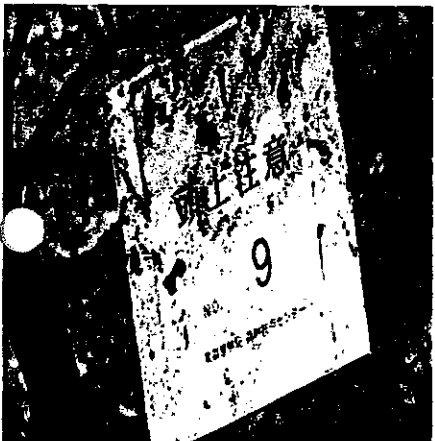
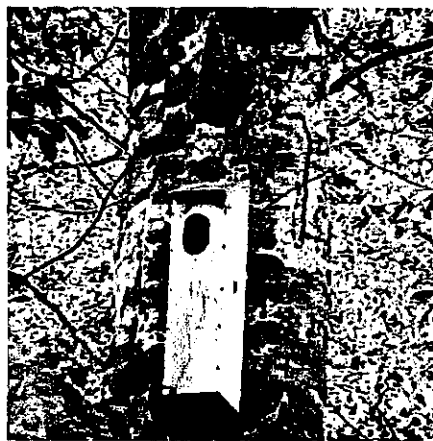
設置月日 平成8年8月6日～7日

クマゲラ巣箱設置箇所一覧

鯉ヶ沢営林署管内 奥赤石川林道沿線

	No	方向	距離 [*]	樹種	備考
営 巢 用	1	E	8.1	ブ ナ	作業道沿
	2	NW	7.7	サワク*ルミ	
	3	W	7.6	ブ ナ	
	4	N	7.0	//	
	5	W	6.6	//	
	6	NW	5.9	//	
	7	NW	4.7	//	ダム入口
	8	ENE	4.1	サワク*ルミ	
	9	N	3.4	ブ ナ	ヘリポート入口
	10	E	3.4	//	//
	11	SE	2.2	//	
	12	SE	1.3	//	土捨場奥
	13	SW	1.3	//	土捨場入口
ねぐら用	1	W	3.4	ブ ナ	ヘリポート
	2	S	3.4	ミス*ナラ	//
	3	N	1.3	ホ オ	土捨場入口
	4	NE	1.3	//	土捨場奥

* 自動車のメーターによるゲートからの距離



平成 10 年度

クマガラ巣箱
(巣丸大)設置
状況調査チーム

メンバー
計画課
最上、青山

森林技術センター
盛、山本、
外崎
お疲れさまで
した。

H10.10.14

